

# 令和4年度第1回「教員等の出退勤時刻実態調査結果」【データ編】

## 1 調査方法等

### (1) 調査対象教職員

校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、講師  
 ※フルタイム勤務職員全員

### (2) 調査期間

【1回目】令和4年 6月1日（水）から 6月30日（木）までの1か月間  
 【2回目】令和4年11月1日（火）から11月30日（水）までの1か月間  
 ※今回の調査結果は1回目の調査となります。

### (3) 調査対象校

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校  
 ※千葉市立の学校及び市立高等学校を除く

### (4) 調査の実施方法

#### ①市町村立学校

市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び市立特別支援学校においては、各市町村教育委員会が管下の教職員の実態をそれぞれの方法で把握し、当該月の平日及び土日における各出退勤時刻、在校等時間、当該月の時間外在校等時間を取りまとめ、各教育事務所を通して県教育委員会に報告する。

#### ②県立学校

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校においては、ICカード式タイムレコーダ及び管理システムを活用して出退勤時刻を記録し、対象職員の当該月の平日及び土日における在校等時間、当該月の時間外在校等時間を管理職が取りまとめて県教育委員会に報告する。

## 2 調査結果について

### (1) 全校種（市町村立学校、県立学校）

#### ①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R4.6月）	57.2%	69.5%	74.7%	36.0%	13.7%
教諭等（R3.6月）	59.5%	72.9%	76.2%	37.4%	14.3%

※「教諭等」：主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手及び講師

教諭等における全校種の平均 **51.3%**（前年同月：53.6%）

#### ②月当たりの時間外在校等時間（校種別）

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	特別支援学校
教諭等（R4.6月）	49時間45分	65時間06分	60時間08分	41時間29分	29時間44分
教諭等（R3.6月）	49時間49分	67時間06分	56時間56分	42時間42分	30時間26分

教諭等における全校種の平均 **49時間47分**（前年同月：50時間39分）

## 在校等時間の求め方

$$\text{在校等時間} = \text{在校している時間} + \text{①及び②} - \text{③及び④}$$

- ① … 校外において職務として行う研修や児童生徒の引率等の職務に従事している時間  
 ② … 地方公共団体に定めるテレワークの時間  
 ③ … 勤務時間外における自己研鑽及び業務外の時間（教職員からの自己申告による）  
 ④ … 休憩時間

### 【調査結果の概要から】

- 月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合について、全校種の平均が51.3%だった。全体的に45時間を超えて業務する教諭等の割合が減少したことについては、業務改善に向けての取組や意識の向上による結果と推察する。
- 月当たりの時間外在校等時間について、教諭等における全校種の平均は49時間47分であり、前年度より改善されたものの、県の目標である「45時間を超えないようにする」を4時間47分超えていた。

## (2) 市町村立学校（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校）

### ①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	39.4%	45.1%	[50.0%]	[0.0%]
〃（R3.6月）	39.1%	47.2%	[33.3%]	[50.0%]
副校長・教頭（R4.6月）	91.1%	93.7%	[100%]	[100%]
〃（R3.6月）	90.5%	94.3%	[100%]	[100%]
教諭等（R4.6月）	57.2%	69.6%	74.7%	30.8%
〃（R3.6月）	59.5%	73.1%	76.2%	32.3%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **61.5%**（前年同月：64.2%）

### ②月当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	43時間01分	44時間28分	[68時間42分]	[39時間30分]
〃（R3.6月）	42時間12分	45時間44分	[34時間40分]	[59時間45分]
副校長・教頭（R4.6月）	73時間21分	79時間50分	[82時間30分]	[88時間35分]
〃（R3.6月）	73時間54分	81時間38分	[91時間02分]	[90時間26分]
教諭等（R4.6月）	49時間45分	65時間11分	60時間08分	39時間23分
〃（R3.6月）	49時間49分	67時間12分	56時間56分	35時間23分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **55時間14分**

（前年同月：55時間56分）

### ③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超える者の割合

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	3.3%	3.6%	[50.0%]	[0%]
〃（R3.6月）	4.4%	4.2%	[0%]	[0%]
副校長・教頭（R4.6月）	33.5%	47.5%	[54.6%]	[60.0%]
〃（R3.6月）	32.9%	50.9%	[75.0%]	[80.0%]
教諭等（R4.6月）	8.4%	29.4%	24.7%	0.5%
〃（R3.6月）	10.4%	34.5%	27.6%	0.4%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

### ④平日における1日当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	2時間03分	1時間56分	[3時間06分]	[1時間57分]
副校長・教頭（R4.6月）	3時間24分	3時間28分	[3時間52分]	[4時間30分]
教諭等（R4.6月）	2時間20分	2時間40分	2時間43分	1時間44分

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

### ⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

職種（調査時期）	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	0時間15分	0時間24分	[1時間31分]	[0時間00分]
副校長・教頭（R4.6月）	1時間51分	1時間23分	[1時間38分]	[0時間06分]
教諭等（R4.6月）	0時間26分	1時間52分	2時間1分	0時間0分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

#### 【市町村立学校について】

- 教諭等の「④平日における1日当たりの時間外在校等時間」は特別支援学校を除き2時間以上であった。また、副校長・教頭については全ての校種で3時間を超えていた。
- 各校種とも、副校長・教頭の時間外在校等時間が他の職種よりも長く、「①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合」は90%を超え、「②月当たりの時間外在校等時間」は、平均70時間を超えていた。
- 小学校・中学校においては、教諭等で昨年の同時期と比較して「②月当たりの時間外在校等時間」は改善傾向にあり、コロナ禍での業務効率化の成果が少しずつ表れ始めている。しかしながら特に副校長・教頭、教諭等においては、平均45時間を超える状況にあり、さらに業務改善を進めていく必要がある。
- 本調査結果を基に各市町村教委と改善に向けての協議や課題について情報共有し、域内の市町村学校に対して改革の推進に努めていく。また改善につながった好事例等についても共有及び周知を依頼し、各学校の推進を図る。
- スクール・サポート・スタッフを配置している学校の調査結果を検証し、教員等の業務量がより効果的に軽減されていくための研究を行う。

(3) 県立学校（中学校、高等学校、特別支援学校）

①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	—	16.5%	16.7%
〃（R3.6月）	—	14.9%	13.9%
副校長・教頭（R4.6月）	[50.0%]	55.2%	71.9%
〃（R3.6月）	[50.0%]	62.6%	67.7%
教諭等（R4.6月）	50.0%	36.0%	12.5%
〃（R3.6月）	38.2%	37.4%	13.0%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **28.3%**（前年同月：29.6%）

②月当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	—	30時間55分	35時間21分
〃（R3.6月）	—	29時間54分	36時間59分
副校長・教頭（R4.6月）	[55時間57分]	60時間10分	61時間27分
〃（R3.6月）	[59時間27分]	62時間24分	62時間07分
教諭等（R4.6月）	47時間19分	41時間29分	29時間04分
〃（R3.6月）	44時間43分	42時間42分	30時間04分

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **37時間24分**

（前年同月：38時間40分）

③月当たりの時間外在校等時間を80時間を超える者の割合

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	—	0%	0%
〃（R3.6月）	—	0%	0%
副校長・教頭（R4.6月）	[0%]	17.0%	9.4%
〃（R3.6月）	[50.0%]	15.8%	8.1%
教諭等（R4.6月）	2.9%	7.9%	0%（1名）
〃（R3.6月）	8.8%	8.4%	0.1%

※〔 〕は母数が少ないため参考値

④平日における1日当たりの時間外在校等時間

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	—	1時間25分	1時間32分
副校長・教頭（R4.6月）	[2時間47分]	2時間55分	2時間49分
教諭等（R4.6月）	2時間00分	1時間43分	1時間27分

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

職種（調査時期）	中学校	高等学校	特別支援学校
校長（R4.6月）	—	0時間15分	0時間02分
副校長・教頭（R4.6月）	[0時間00分]	0時間12分	0時間04分
教諭等（R4.6月）	0時間43分	0時間42分	0時間01分

※ [ ] は母数が少ないため参考値

【県立学校について】

- 教諭等の「②月当たりの時間外在校等時間」の平均は37時間24分であり、県の目標及び「学校職員の勤務時間等に関する規則」で規定された、月当たりの時間外在校等時間45時間以内を下回っているが、45時間を超える者や80時間を超えている者も減少傾向ながらも存在することから、今後も取組を推進していく必要がある。
- 副校長・教頭については中学校で55時間57分、高等学校、特別支援学校では60時間を超えており、同様に長時間勤務である。「③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超える者の割合」は、過去の結果と比較した場合、教諭等においては減少しているが、副校長・教頭は、80時間を超える者が増加しており、業務改善に係る取組を進めていく必要がある。教育委員会としては、副校長・教頭に係る調査・報告の削減及び軽減を図ると共に、ICTによる業務の効率化を目指し、負担軽減を図っていきたい。
- この調査結果を基にヒアリングを行い、時間外在校等時間が長時間に至った経緯や課題を検証する。また過去の調査結果なども踏まえ、働き方改革が推進されたとみられる学校に対しても聴き取りを行い、その好事例等を情報共有して全体の改善に努める。